



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者(役職名) 専務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,243	28.5	1,439	162.3	1,449	164.8	1,116	143.2
25年3月期第2四半期	3,301	9.3	548	0.2	547	0.1	459	13.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,198百万円 (153.6%) 25年3月期第2四半期 472百万円 (16.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	87.60	84.77
25年3月期第2四半期	35.72	35.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,855	10,554	75.8
25年3月期	13,016	9,478	72.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,504百万円 25年3月期 9,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	0.8	1,150	2.7	1,150	△5.0	900	△13.2	70.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	13,184,400 株	25年3月期	13,071,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	390,179 株	25年3月期	390,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	12,747,295 株	25年3月期2Q	12,854,487 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、平成25年11月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

当第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期)の売上高は、感染管理事業が大幅に伸長し、海外向け医薬品事業も堅調に推移したことから、対前年同期比941百万円増(28.5%増)の4,243百万円となりました。また、増収効果に加えて、相対的に利益率の高い製品の販売構成比が拡大したことから、売上総利益は対前年同期比894百万円増(41.7%増)の3,036百万円となりました。また、販売費及び一般管理費はほぼ前年同期並みとなったことから、営業利益は対前年同期比890百万円増(162.3%増)の1,439百万円となり、経常利益は対前年同期比901百万円増(164.8%増)の1,449百万円、四半期純利益は、対前年同期比657百万円増(143.2%増)の1,116百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

国内向けにつきましては、若年層獲得に向けて広告宣伝や店頭販促に努めたものの、止瀉薬市場の停滞や他社のシェア増加による影響を受け、主力製品『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』の販売が落ち込み、売上高は前年同期比で減少となりました。

海外向けにつきましては、重点エリアとする中国市場及び香港市場における販売が堅調に推移したことに加え、円安効果もあり、売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、国内向けの減少を海外向けの増加が上回ったことから、当第2四半期の医薬品事業の売上高は、対前年同期比198百万円増(7.0%増)の3,042百万円となりました。また、損益面につきましては、海外医薬品事業における増収及び製造原価における固定費等の減少による利益率改善により、売上総利益が大きく増加したこと等から、セグメント損益は対前年同期比297百万円増(25.0%増)の1,486百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

一般用製品につきましては、春先の中国における鳥インフルエンザ報道を背景とした需要増に加えて、秋口以降に流行する季節性インフルエンザ等の感染症に備える小売店からの受注が例年よりも早まったことから、主力製品『クレベリンゲル』等の販売が大幅に伸長致しました。また、業務用製品につきましても、主にゲル剤及び『クレベリンカートリッジ(車両用)』等が伸長したことから、当第2四半期の感染管理事業の売上高は、対前年同期比743百万円増(166.3%増)の1,189百万円となりました。損益面につきましては、流通在庫の増加等により返品調整引当金繰入額が増加したものの、相対的に利益率の高い一般用製品の売上高が大幅に伸長したことから、前年同期に比して売上総利益は顕著な増加となりました。一方、販売費及び一般管理費は広告宣伝の強化等により前年同期に比して増加したものの、増収による売上総利益増加の効果が大きく、セグメント損益は対前年同期比549百万円増の507百万円の利益(前年同期は42百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は前年同期とほぼ同額(3.5%増)の11百万円となった一方、セグメント損益は対前年同期比1百万円増の9百万円の損失(前年同期は10百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間における資産合計は13,855百万円(前連結会計年度比838百万円増)となりました。また、負債合計は3,300百万円(同237百万円減)、純資産合計は10,554百万円(同1,075百万円増)となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、利益剰余金の増加等による純資産1,075百万円の増加等であり、なお、自己資本比率は前連結会計年度から3.4ポイント上昇し、75.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物(以下、資金)が前連結会計年度より434百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末残高は、5,568百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は970百万円となりました。主に未払金の減少319百万円、たな卸資産の増加219

百万円及び引当金の減少133百万円等の資金減少に対し、税金等調整前四半期純利益1,453百万円に加え、売上債権の減少229百万円や減価償却費122百万円等の資金増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は448百万円となりました。主に定期預金の預入による支出289百万円や有形固定資産の取得(医薬品事業に係る設備投資等)による支出143百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は132百万円となりました。主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,173,034	5,867,182
受取手形及び売掛金	2,638,651	2,428,357
商品及び製品	553,035	882,507
仕掛品	635,706	539,135
原材料及び貯蔵品	209,896	204,868
その他	282,875	348,689
貸倒引当金	△19,003	△19,000
流動資産合計	9,474,195	10,251,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	992,399	965,180
機械装置及び運搬具(純額)	335,047	337,987
土地	1,330,450	1,330,450
その他(純額)	141,698	152,842
有形固定資産合計	2,799,596	2,786,461
無形固定資産	42,046	36,615
投資その他の資産	701,142	780,288
固定資産合計	3,542,785	3,603,365
資産合計	13,016,981	13,855,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	444,562	502,596
未払金	1,253,452	874,559
未払法人税等	76,904	310,348
返品調整引当金	267,000	344,000
賞与引当金	174,939	42,086
役員賞与引当金	94,500	—
その他	191,097	171,946
流動負債合計	2,502,456	2,245,537
固定負債		
長期末払金	562,700	562,700
退職給付引当金	460,863	478,187
その他	12,009	14,009
固定負債合計	1,035,572	1,054,896
負債合計	3,538,029	3,300,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	178,169	216,015
資本剰余金	89,398	127,244
利益剰余金	9,473,207	10,399,633
自己株式	△281,714	△281,714
株主資本合計	9,459,059	10,461,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,135	32,649
為替換算調整勘定	△67,954	10,443
その他の包括利益累計額合計	△38,818	43,092
新株予約権	58,711	50,400
純資産合計	9,478,952	10,554,672
負債純資産合計	13,016,981	13,855,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,301,544	4,243,374
売上原価	1,126,978	1,129,676
売上総利益	2,174,566	3,113,697
返品調整引当金戻入額	239,000	267,000
返品調整引当金繰入額	271,000	344,000
差引売上総利益	2,142,566	3,036,697
販売費及び一般管理費	1,593,806	1,597,029
営業利益	548,759	1,439,668
営業外収益		
受取利息	1,765	1,843
受取配当金	935	1,026
受取賃貸料	4,063	4,047
受取保険金	3,691	—
その他	3,298	3,781
営業外収益合計	13,754	10,699
営業外費用		
為替差損	9,137	916
賃貸費用	1,051	315
支払手数料	4,145	—
その他	1,017	133
営業外費用合計	15,351	1,366
経常利益	547,161	1,449,001
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,210
特別利益合計	—	4,210
税金等調整前四半期純利益	547,161	1,453,212
法人税、住民税及び事業税	27,174	325,635
法人税等調整額	60,821	10,928
法人税等合計	87,995	336,563
少数株主損益調整前四半期純利益	459,166	1,116,648
四半期純利益	459,166	1,116,648

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	459,166	1,116,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	3,513
為替換算調整勘定	13,187	78,397
その他の包括利益合計	13,396	81,911
四半期包括利益	472,563	1,198,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,563	1,198,559
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	547,161	1,453,212
減価償却費	117,840	122,608
新株予約権戻入益	—	△4,210
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,291	17,324
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,500	—
返品調整引当金の増減額(△は減少)	32,000	77,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△175,321	△132,853
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△96,666	△94,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△657	△55
受取利息及び受取配当金	△2,700	△2,870
為替差損益(△は益)	4,137	△4,503
売上債権の増減額(△は増加)	△2,496	229,029
たな卸資産の増減額(△は増加)	127,362	△219,160
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,551	46,068
未払金の増減額(△は減少)	△230,238	△319,218
その他	△155,616	△109,013
小計	1,046	1,058,856
利息及び配当金の受取額	3,244	2,055
法人税等の支払額	△2,333	△90,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,957	970,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△178,199	△289,930
定期預金の払戻による収入	208,464	42,934
有形固定資産の取得による支出	△122,101	△143,524
差入保証金の差入による支出	—	△69,441
その他	△4,737	11,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,573	△448,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8,836	△9,336
自己株式の取得による支出	△285,616	—
配当金の支払額	△193,728	△190,335
新株予約権の行使による株式の発行による収入	23,666	67,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,514	△132,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,576	45,680
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△554,554	434,958
現金及び現金同等物の期首残高	4,454,442	5,133,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,899,887	5,568,800

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,843,764	446,878	10,901	3,301,544	—	3,301,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,843,764	446,878	10,901	3,301,544	—	3,301,544
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,189,158	△42,369	△10,984	1,135,804	△587,044	548,759

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△587,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△587,044千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,042,144	1,189,950	11,279	4,243,374	—	4,243,374
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,042,144	1,189,950	11,279	4,243,374	—	4,243,374
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,486,894	507,217	△9,099	1,985,012	△545,343	1,439,668

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△545,343千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△545,343千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。